

平成 22 年度第 2 回日本生物物理学会運営委員会議事録

日時：平成 22 年 2 月 13 日（土）13：00～

場所：新大阪丸ビル本館 8 階 803 号室

出席者：片岡、原田、伊藤、相沢、有賀、今田、岡崎、上久保、金城、諏訪、高田、寺嶋、光岡、柳澤、高橋（聡）、桑島、鈴木、小倉、木寺、石渡、石島、永山、垣内（敬称略）

報告事項：

1. 平成 21 年度年会報告（資料：報 1）

伊藤年会実行委員が、資料に基づいて年会の会計について報告を行った。

2. 平成 22 年度年会準備状況（資料：報 2）

鈴木年会実行委員長が、第 48 回年会の準備状況について報告を行った。公募型シンポジウム 18 件を採択した。また年会の参加費の可能な範囲での値上げを希望する一方、学生の参加費は現行維持、学部学生の無料化は継続する事が報告された。

3. 平成 23 年度年会準備状況（資料：報 3）

小倉年会実行委員長が、第 49 回年会の準備状況について報告を行った。会場は、神戸国際会議場及び神戸国際展示場、開催日程は平成 23 年 9 月 1 日～3 日までの 3 日間とする。

4. 出版委員会報告（資料：報 4）

伊藤出版委員長が、平成 22 年度の出版委員メンバーについて報告を行った。

5. 男女共同参画・若手問題検討委員会（資料：報 5）

原田男女共同参画・若手問題検討委員長が、活動状況を報告した。「関西の女子中高生のための関西科学塾 2010」に参加した高校生へのプレゼントとして、クリアファイル 100 部を提供し、今年度も継続する方針が提案された。

6. 事業仕分けへの対応（資料：報 6）

原田副会長が、事業仕分けへの対応を報告した。12 月 7 日に生物科学学会連合として記者会見を行い、12 月 11 日は本会に日本蛋白質科学会、日本結晶学会を加えた 3 学会長の連名で Spring-8 に関する要望書を提出した。

7. 生物物理テキスト出版検討委員会報告（資料：報 7）

片岡会長が、「生物物理テキスト（仮称）」出版検討委員会について、その構成と議論の内容を報告した。テキストは、全 6 巻から成り、第 1 巻の構想が進行している。

8. 50 周年記念事業関係報告（資料：報 8）

片岡会長と光岡企画・啓蒙活動担当委員が、50 周年記念式典の進行状況について報告した。会場を日本科学未来館、開催日時を 2010 年 12 月 2 日（木）13：00～17：00 とする。

9. 会員関連報告、名簿作成進捗状況報告（資料：報 9）

諏訪広告担当委員が、会員関連報告と、名簿作成の進行状況報告を行った。会員情報管理は、中西印刷（株）が WEB 上での管理システムの導入を進めている（中西印刷が管理している学会全てを含めて導入するので生物物理学会はそれに乗る形）。中西印刷の費用負担でシステム構築、およびサーバー管理を外部委託し、2011 年 4 月運用開始を目指す。詳

細は、諏訪委員、相沢委員、出版委員等が中心となり、中西印刷担当者と協議予定である。

#### 10. IUPAB 関連事項 (資料：報 1 0)

永山 IUPAB 会長が、IUPAB 関連事項として、第 17 回国際生物物理学学会議について報告した。この会議は、北京のオリンピックパーク近くにある国立のコンベンションセンターにて、2011 年 10 月 30 日～11 月 4 日に開かれる予定である。またその会議プログラム、シンポジウムリストが紹介され、日本からのプレナリートークの講演候補者の推薦およびシンポジウムの座長の推薦について依頼があった。

#### 11. ABA 会計報告 (資料：報 1 1)

永山 ABA 日本支部担当委員が、資料に基づいて ABA の会計報告を行った。

#### 12. 平成 23・24 年度学会委員候補者の推薦について (資料：報 1 2)

上久保選挙管理委員長が、平成 23・24 年度学会委員候補者の推薦状況について述べた。

#### 13. 賞・助成金推薦委員会

原田賞・助成金推薦委員長が、第 51 回藤原賞の推薦経過を報告した。

#### 14. 支部会計報告 (資料：報 1 4)

各支部が 2009 年度の活動報告と、収支報告を行った。

### 議題

#### 1. 平成 21 年度決算書の承認 (資料：議 1)

今田経理担当委員から、資料に基づいて平成 21 年度の一般会計、特別会計についての決算が報告され、承認された。

#### 2. 平成 23 年度次期会長候補者の選出手続きについて (資料：議 2)

上久保選挙管理委員長より、平成 23 年度次期会長候補者の選出手続きについて報告された。

#### 3. 分野別専門委員の選出について (資料：議 3)

伊藤出版委員長より、分野別専門委員の選出は出版委員会の仕事とすることが提言され、承認された。その選出方法を以下のように変更する。1) 新たな委員の推薦がなければ留任、もしくは出版委員の推薦とする。2) 現委員以外が最高得票ならばその方に交替。3) 現委員が最高得票の場合、2 位以下の人の得票数を見て出版委員会が決定する。4) は廃止とする。これにより、若い研究者を分野別専門委員として積極的に任命する。

#### 4. 分野別専門委員規定の変更について (資料：議 4)

伊藤出版委員長より、HP にある分野別専門委員規定を以下のように変更することが提言され、承認された。4 学会会長、年会準備委員長、生物物理会誌編集委員長、BIOPHYSICS 誌編集委員長、ホームページ編集委員長は、次の事項に関して専門委員に意見を求めることができる。(1)「生物物理」会誌、「BIOPHYSICS」誌、ならびにホームページの記事企画、閲読。

#### 5. 出版委員会(若手の会)からの提案 (資料：議 5)

伊藤出版委員長と有賀若手担当委員より、若手の会による「大沢統計」の書籍化と出版

に関する説明と提案がなされた。本会を通じての委託出版は行わないことに決定された。

#### 6. ABA 資金援助について

永山 ABA 日本支部担当委員と片岡会長が、現在の ABA の余剰金をそのまま ABA 日本支部で使わせて欲しいと提案があり、審議の結果了承された。

#### 7. 会員数増強キャンペーンについて (資料：議7)

相沢広告担当委員より、会員数増強キャンペーンについて提案がなされ承認された。1つは、修士学生が卒業後も会員を継続した場合、3年間の年会費を学生会員と同じ4500円(本来は正会員8000円)として、引き続き学会員としてとどめようとするものである。卒業前に教員から会員継続を強く勧めることが必要だろう。さらに新会員紹介キャンペーンとして、正会員としての入会者につき、会員から紹介された場合に入会金1000円を免除するものである。以上2つのキャンペーンは期限付きで実施する。

#### 8. 広告募集の強化について (資料：議8)

年々減少傾向にある広告費を増加させるためのキャンペーンが、相沢広告担当委員より提案され、承認された。運営委員に対しては広告募集資料を定期送信し、全会員に対しては広告募集活動への協力依頼を行う。また現在作成中である会員名簿には、広告を載せないことを決定した。

#### 9. 科研費審査委員候補者の推薦 (資料：議9)

片岡会長が、科研費審査委員への積極的な推薦を呼びかけた。

#### 10. 法人化 WG の存続について

片岡会長より、法人化 WG について説明がなされ、存続することが決定された。

#### 11. 支部会への会員データ提供方法

片岡会長より、支部会への会員データ提供方法について説明がなされた。今後のデータ提供については、会長と庶務担当委員等が状況を見て判断することが提案された。

#### 12. 第21回科学熱力学国際会議での宣伝について (資料：議12)

第21回科学熱力学国際会議と提携し、学会の宣伝ポスターを提出することを決めた。

#### 追加議題

#### 13. 日本生物物理学若手奨励賞について

原田男女共同参画・若手問題検討委員長より、若手奨励賞の説明文の変更について意見があった。

#### 連絡事項

次回の運営委員会は、2010年4月3日の13時より行う。

また、出版委員会は10時半より、男女共同参画・若手問題検討委員会は11時より行う。